

スタンドパイプが設置されました！

つくし野小学校（正門横）



スタンドパイプ格納箱（赤）

つくし野小正門横に設置されたスタンドパイプ格納箱



消火栓の標識



消火栓マンホール

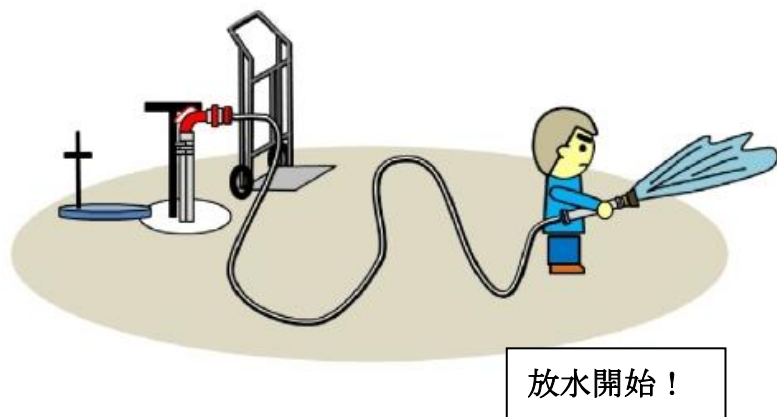


「消火資機材格納箱」(赤い箱)の
中は「スタンドパイプ」です。



スタンドパイプは首都直下地震など大規模な地震が発生した場合、同時多発する災害や倒壊建物などに道を阻まれ、災害現場に消防隊がすぐに到着できるとは限りません。その時は、地域住民が協力して消火にあたる必要があります。

いざという時、住民が活用できる消火資器材のひとつがスタンドパイプです。スタンドパイプは、道路上にある消火栓や排水栓に差し込み、ホースをつなぎ消火を行います。軽量で操作も簡単、消防車が進入できない道路の狭い地域や木造住宅密集地域でも近くの消火栓等を使って消火活動ができます。スタンドパイプは、地域の防災倉庫や学校などに設置が進んでいます。防災訓練などで、ぜひ使い方を覚えてください。



- ★つくし野 1・2丁目自治会では今、スタンドパイプの早期設置に向け準備を進めています。
- ★「つくし野小学校」、「都民住宅(横浜線沿い)」、「貝がら公園」の3箇所に設置予定です。
- ★「消火栓の位置から80mぐらい」が放水可能になります。
- ★普段からご自宅付近の「消火栓の位置」をご確認しておいてください。

★12月12日(土)午後3時～4時、貝がら公園にて

スタンドパイプの使用訓練を開催します、皆さまのご参加をお願いします。